

「認知症予防と進行予防について多世代で楽しく学ぶ：お笑いで健康と元気を！」

—「笑って健康！子どもも大人もお笑いの力で元気に！」シンポジウム開催—

2024年12月 19日

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター(理事長:荒井秀典、以下、国立長寿医療研究センター)もの忘れセンター、立命館大学(学長:仲谷善雄)および湘南幼児学園(代表:田中重徳)は、「お笑い」の力に着目した新たな認知症予防・進行予防プログラムの一環として、シンポジウム「笑って健康！子どもも大人もお笑いの力で元気に！」を開催します。

2022年より、国立長寿医療研究センターと立命館大学スポーツ健康科学部の清家理教授の研究グループは、吉本興業の協力を得て、「笑うこと」が高齢者や介護者の「こころ」や「からだ」の健康、そして生活の質向上につながるかを科学的に検証してきました。さらに、2024年8月より神奈川県茅ヶ崎市で、高齢者や介護者に加え、子どもやその保護者も含めた幅広い対象に「お笑いプログラム」の効果を調査する取り組みを開始しています。本シンポジウムでは、「お笑いプログラム(Petit笑店)」やこれまでの取り組みの効果を紹介するとともに、世代を超えた参加型アクティビティを通じて、楽しく認知症予防と進行予防に取り組む方法を共有します。どなたでも気軽に参加いただきながら、健康づくりだけではなく、共生社会実現のための啓発の機会を提供致します。

【開催概要】

日時:2024年12月21日(土)13:00~15:45(開場12:20) 会場:茅ヶ崎市うみかぜテラス(オンライン同時配信)
参加費:無料 対象:どなたでもご参加いただけます(子ども連れ歓迎)

【シンポジウム内容】

1. お笑い与健康の科学的効果:笑いか社会情緒的スキルや健康に与える影響を解説。
2. 体験型アクティビティ「Petit笑店」プログラムの体験:吉本興業の協力を得て、楽しみながら学べるプログラムを実施。
例:「風船でできるかな?」「みんなで踊ろう」「皿回し競争」。
3. 最新情報の提供:軽度認知障害や認知症の現状と予防策についての解説。

【本シンポジウムの目的】

- 1:認知症予防と進行予防を広く啓発し、地域社会での取り組みを促進。
- 2:笑いを活用した健康的な生活習慣の実践方法を共有。
- 3:家族や地域コミュニティ全体のWell-being向上を目指す。

【主催・共催・協力】

主催:国立長寿医療研究センターもの忘れセンター 共催:立命館大学、湘南幼児学園
協力:吉本興業 助成事業:上廣倫理財団

【リリースの内容に関するお問い合わせ】

<この研究に関すること>

もの忘れセンター認知症ケア研究室 電話:0562-87-2500 Mail: petit-salon@ncgg.go.jp

<報道に関すること>

国立長寿医療研究センター総務部総務課 総務係長(広報担当)

〒474-8511 愛知県大府市森岡町七丁目430番地

電話: 0562(46)2311(代表) E-mail: webadmin@ncgg.go.jp